



3年学年だより

発行日：令和5年11月30日（木）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

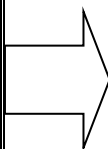
校長：遠藤 広樹 NO. 7

生徒会役員選挙が行われました！

11月14日（火）に新生徒会本部役員を選出する立会演説会が行われました。全校生徒の前に立ち、言葉を紡ぐ立会演説会。候補者たちにとって、それぞれの想いを熱く、そして丁寧に伝える素晴らしい場となりました。その言葉を聞く生徒たちの眼差しも真剣そのもの。同日に投票した結果、次期生徒会本部役員が以下の通り決定しました。

【10期】

生徒会長	3年1組：木村 響太さん
役員	3年3組：幸 奈菜帆さん
	3年4組：川口 紗楓さん
	3年4組：前田 祐樹さん
	2年1組：中山 大地さん
	2年4組：佐野 遥陽さん



【11期】

生徒会長	2年1組：中山 大地さん
役員	2年1組：松村 晴太さん
	2年3組：佐分 蒔乃さん
	2年4組：佐野 遥陽さん
	1年1組：松浦 朱里さん
	1年2組：野津 咲乃さん



今年度、生徒会本部は「 コミュる 」という生徒会目標を掲げ、全校生徒が学年に関わりなくコミュニケーションを図れるように努めています。今年度一般公開となった南高祭展示の部では、高校生と協力してスタンプラリー活動を行いました。また、昨年度に引き続き全校生徒が一堂に会して行う行事「全校交流イベント」を企画中です。昨年度の経験を踏まえ、今年度のイベントは各種委員会の委員長や学級委員の支援を受け、全校一体となって準備を進めています。

12月から3月までの4カ月、現役員と新役員の10人がともに活動することで、生徒会活動の引継ぎとパワーアップを目指していきます。

↑現（10期）

生徒会本部役員の皆さん

新（11期）↓

今後、本部役員が附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。これまで、附属中の先輩方が積み重ねてきた伝統を引き継ぎつつ、より良い学校にしていくために、一人ひとりが学校生活について、考えていくことが必要とされてきます。さまざまな生徒会活動（各種委員会活動や、クラスの係活動、学校行事など）の一つひとつがみなさんにとっての成長のチャンスです。創意工夫のある生徒会活動を通し、附属中生が心身ともにより大きく、たくましく成長することを願っています。



深まる秋、実りの秋

「秋の日は、つるべ落とし」と言われるように日暮れが早くなりました。各地から紅葉の便りが届き、学校の銀杏も黄金色に色づきました。

秋と言えば…スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋…これまでの努力がさまざまな場面で顕在化し、実りの恩恵を私たちに届けてくれる季節でもあります。

先日行われた学級委員主催の学年集会では、これまでのクラスの取り組みを振り返りました。課題を捉え、卒業までの日々を今以上に実りあるものにするために、どのように過ごしていくか、みんなで考える機会にすることができました。

1組

1組は、言いたいことが言える温かいクラスだと思います。話し合いをしたり決め事があるときに、疑問点を周りと共に共有して、スムーズに議論できるよう呼びかけたりする人が多いです。間違いでも勘違いでも、やさしく訂正したり、笑って受け流したりという環境づくりができてきているから、意見が言えるのだと思います。数学の授業では議論が白熱して、授業後も残って話し合っ

ていることがあります。課題は、朝読書や週プランの提出など、これまでできていたことが、時々曖昧になっているところです。未だに「離れ小島」と揶揄されることがある1組ですが、「本島」として最高のクラスにしていきたいと思います。

2組

最近の2組は賑やかで明るい雰囲気です。いろんな行事を終えて、それまであまり関わりのなかった人とも話す機会が増えました。国語や社会など発言が活発で、授業も充実したものとなりました。解き方の解説でもメモを取る人も増えました。一方手を挙げる人が固定化されたり、聞く時間が長くなると私語が増えたりもするのが課題です。大きな行事がないからこそ、日々の生活を大切にしながら残りの中学校生活を過ごしましょう。

3組

3組は南高祭や研修旅行を経てクラスが一つになりました。それまでは、グループでまとまっていることもあったのですが、今は誰とでも楽しそうに話しています。また、以前はバラバラだった国語や英語の音読もそろそろようになり、

そこでもクラスのまとまりを感じます。課題は「一度考える」ということです。勢いに任せて何かをしたり、言ったりするのではなく、一度立ち止まって考えてから行動することで、更にまとまったクラスにしていきたいと思います。

4組

南高祭や関西研修旅行を通して、4組は団結力が増し、仲の良いクラスになったと思います。関西研修旅行では、クラスがまとまって素早く行動することができたので、嵐山で1時間近く自由散策の時間が取れました。一方で、授業中の私語や忘れ物が、最近の課題ではないでしょうか。初心に返って気を引き締め、遊びも勉強も両方大切にしていきたいと思います。



卒業研究 着々と進んでいます

10月に行われた中間発表会に続き、高校の先生方からのアドバイザー面接も終わりました。

中間発表会では、これまでに行った実地調査や実験、インタビュー、アンケート、研究講座への参加などを受けて、同じ領域のメンバーにそれまでの研究成果を発表し、交流しました。Chromebook を使って各自スライドを作成し、わかりやすく伝えるよう意識して発表を行いました。

そこでもらったコメントを元に更に研究を進め、高校の先生方から専門的なアドバイスをいただきました。これから具体的に章立てに入り、執筆に取りかかりますが、「着地点をどこにするか」「もう少し視野を広げて汎用性のある研究にするにはどうすればよいか」など、課題も見つかり、これから試行錯誤しつつ研究を進めていくことになります。3年間のEGGゼミの集大成です。「世界を幸せにする一歩」を提案し、行動に結び付けていきましょう。

「高校アドバイザー面接の記録」より

【領域「健康・福祉」】 テーマ「保育環境の充実のためにできること」 4組 長谷川汐里

「人的環境」「物的環境」「自然・社会環境」などのそれぞれが何を指すかを詳しく説明し、また、保育園のボランティアで分かったことは多いと思うから、それをたくさん卒論に使っていくとよいと、西本かなこ先生からアドバイスをいただきました。まとめ方にいかしていきたいです。



【関西研修旅行の事後学習：フォトコンテストや班ごとのレポートで振り返りました。】



【ひめのひとりごと】

18日(土)に行われた授業参観、クラス懇親会にはたくさんの保護者の方においでいただきました。懇親会では、山口智司先生制作の「英語&関西研修旅行」のDVD鑑賞をし、「生徒たちが心から研修旅行を楽しみ、有意義な時間を過ごすことができた様子が伝わって来ました。」という感想をいただきました。行事や研修旅行を経て10期生の絆が強まったという実感があります。卒業までの何気ない日々を大切に過ごし、飛翔して欲しいと願っています。

最後になりましたが、クラス懇親会を企画・運営してくださった学年委員さんをはじめとする保護者の皆さまにお礼を申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。